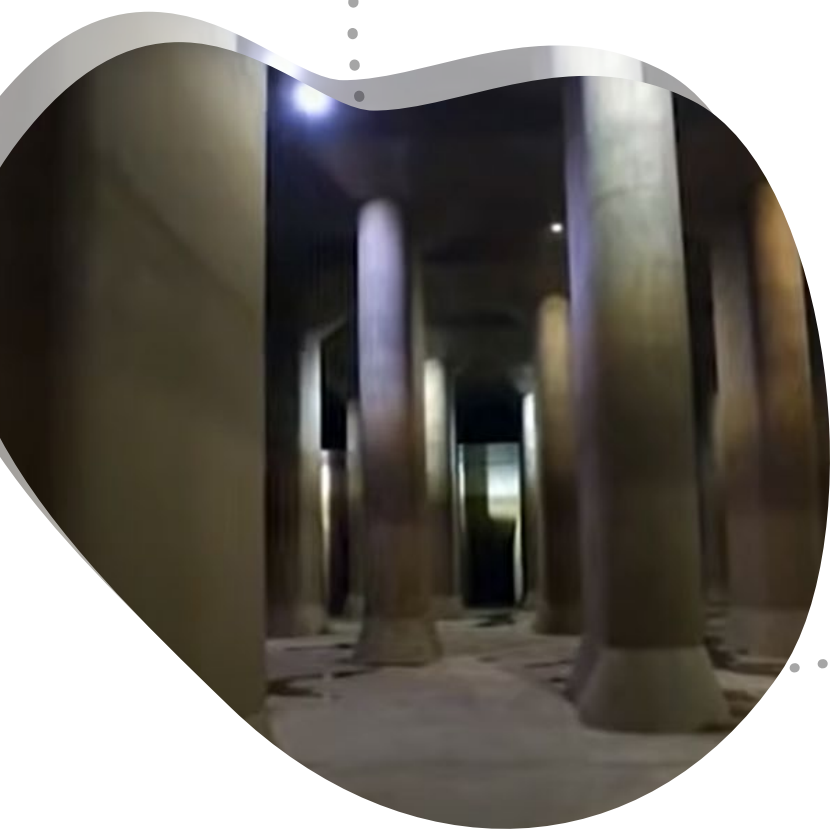


映える土木

EVENING THEATER



「インスタ映え」という言葉は、2017年の新語・流行語大賞で年間大賞に選ばれました。美味しそうな食べ物や、魅力ある風景、施設などに向かって、「これ、映えるよね」（パシャッ）とスマホをかざす光景も、もはや日常的なものとなっています。実際、土木構造物の中にもインスタ映えする施設が多々あります。今回のイブニングシアターでは、土木学会のライブラリーに収蔵されている技術映像の中から、「インスタ映え」という言葉に関連しそうな映像を三作品選定して上映することとしました。



2025年10月22日（水）
18:00 開場 18:30 開演
参加無料

土木学会 講堂

（JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分）

HPにて参加申込み受付 <http://committees.jsce.or.jp/avc/>

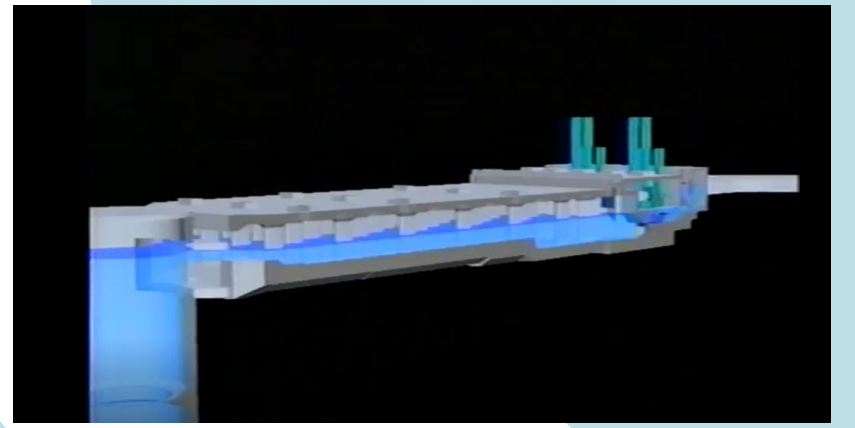
土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。

イブニングシアターは、CPDプログラムです。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当 TEL 03-3355-3596

未来につなげる地下の川

～首都圏外郭放水路～



企画：建設省関東地方整備局江戸川河川工事事務所 制作：岩根研究所

典型的な都市河川である中川と綾瀬川、この流域での急激な都市化による人口増加により大降雨時の浸水被害は甚大なものとなっていました。この浸水被害を抜本的に解消する「首都圏外郭放水路」は国道16号沿いに内径10mの地下放水路を延長6.3kmに亘って建設する事業で、5つの流入施設と立坑、地下トンネルと調圧水槽および排水機場で構成されるものです。

この技術映像では、プロジェクトをCGなどを取り入れながら紹介しています。

伊王島大橋

～一般県道伊王島香焼線橋梁整備工事記録～

（平成17年度～平成22年度）



企画：長崎県長崎振興局 制作：プロダクションナツプ

伊王島は長崎港外の南西10kmの沖合に位置する面積2.2kmの離島であり、今回の大橋が架かるまでは長崎の大波止から船で約40分かかったうえ、台風や海が荒れると欠航になっていました。かつては炭坑の島として賑わい、現在では伊王島灯台などを活かした「ルネッサンス伊王島」をキャッチコピーに観光の島として歩んできています。

本作品は、橋長876m・橋梁形式は3径間連続鋼床版箱桁橋である海上橋梁を、平成9年度より事業着工し平成22年度3月に完成するまでの工事記録映像です。完成後の橋を島民が歩いて渡るシーンは感慨深いものがあります。

稚内港北防波堤ドーム

～耐震補強工事記録～



企画：北海道開発局稚内開発建設部稚内港湾建設事務所
制作：HBCフレックス

かつて樺太が日本領だった頃、北海道最北端の稚内港からの船便は4航路が結ばれ港も大いに賑わいを見せていました。その当時は、列車からの引き込み線と栈橋に横付けされた連絡船の間を乗客が容易に行き来できるようになっていたため、乗客をオホーツク海の波浪から防護するためドーム型の防波堤が整備されています。

この映像は、阪神淡路大震災を契機にコンクリート構造物の安全基準が見直され、平成11年～14年に景観に配慮しつつ耐震補強が行われたものであり、ウォータージェットによるコンクリートはつり、PC鋼より線によるスパイラル巻き立て工法等、高度な補強技術が解説されています。